

Py2Flow Python to Flowchart V0.1

Python のプログラムを貼り付けると、流れ図（フローチャート）を作って PowerPoint に保存できます。パソコンへの準備は何も要りません。

使ってみましょう

1 py2flow_web.html をダブルクリックします。

画面の下に「準備ができました」と出るまで、20 秒ほど待ってください。2 回目からはすぐ開きます。

2 「例を読み込む」を押してみます。

見本のプログラムが入り、右側に流れ図が出ます。まずはこれで動きを確かめましょう。

3 左の枠に、自分のプログラムを貼り付けます。

打ち終わって少し待つと、右側の絵がひとりでに描き直されます。

4 「PowerPoint を保存」を押します。

ダウンロードのフォルダに .pptx が保存されます。開いた PowerPoint の上で、形も文字も自由に直せます。

画面の見かた

左：プログラムを書くところ

ここに Python を貼り付けます。下のボタンで「流れ図をつくる」「PowerPoint を保存」「例を読み込む」。その上の欄で、文字の書体や 1 枚に並べる列の数を選べます。

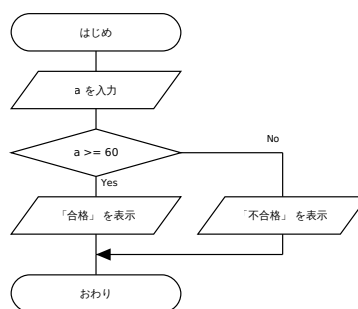
右：できあがりの見本

印刷したときと同じ、A4 の紙のかたちで出ます。ここで確かめてから保存します。長いプログラムは何枚かに分かれます。

プログラムの書き方をまちがえると、左下に「文法エラー：3 行目ー」のように **まちがえた行の番号** が出ます。その行を直してください。

たとえば、こう変わります

```
a = int(input("点数"))
if a >= 60:
    print("合格")
else:
    print("不合格")
```



困ったときは

いつまでも「読み込んでいます」のまま インターネットにつながっているか確かめて、ページを開き直してください。

図が小さくて読みにくい

「列数」を 2 か 1 にしてみてください。

文字が記号からはみ出す

「文字サイズ」を 8 にするか、変数の名前を短くしてください。